

調査地名 [阿賀野川河川敷 (分田地区)] 放鳥集計

2016年 (平成 28年)

No.	種 名	夏期 N 羽数	秋期 N 羽数	N 計	Rp	Rt	Rc	R 計	合計	備 考
1	アカゲラ		2	2		1		1	3	
2	アオゲラ		3	3					3	
3	モズ		3	3	2			2	5	
4	シジュウカラ		39	39	7	4		11	50	放鳥数 第2位
5	ウグイス		33	33	1			1	34	放鳥数 第3位
6	エナガ		7	7		1		1	8	
7	メボソムシクイ ^上		1	1					1	
8	メジロ		1	1					1	
9	トラツグミ		1	1					1	
10	クロツグミ		3	3		1		1	4	
11	シロハラ		25	25	9			9	34	今期は多い
12	アカハラ		1	1					1	
13	ツグミ		3	3					3	
14	コマドリ		1	1					1	
15	ノゴマ		1	1					1	
16	ルリビタキ		19	19					19	
17	コサメビタキ		1	1					1	
18	アトリ		2	2					2	
19	ベニマシコ		3	3					3	
20	ウソ		1	1					1	
21	カシラダカ		6	6					6	
22	ミヤマホオジロ		1	1					1	
23	アオジ		84	84	6			6	90	
24	クロジ		4	4	1			1	5	
25	オオジュリン		1	1					1	ヨシの後退が原因?
計	25 種	0	246	246	26	7	0	33	279	

※「種名」の記載は、日本鳥類目録第7版リスト順



腰と下尾筒の白が鮮やかなウソ(雌)

調査メモ

- 夏の調査は天候等の諸事情により行えず、調査日数は秋期の8日間のみであった!
- アカゲラ・アオゲラの掛かりが好調で、それぞれ3羽を標識放鳥した。
- アオジやシジュウカラのRpが多いのは周知の事実であるが、今期はシロハラのRpが9羽と目立った。シロハラ新放鳥の4割近くが、また掛かった事になる。天候の影響か? エネルギー補給か? 原因は不明である。
- 平成29年は分田で21世紀初となる、待ちに待った春の調査を計画している。引き続き例年通り、夏の陣・秋の陣を構える予定である。

阿賀野川河川敷の魅力を、四季の野鳥を通して存分に伝えて行きたいと思う!

◎夏期

開始日 月 日

終了日 月 日

◎秋期

開始日 10 月 22 日

終了日 11 月 13 日

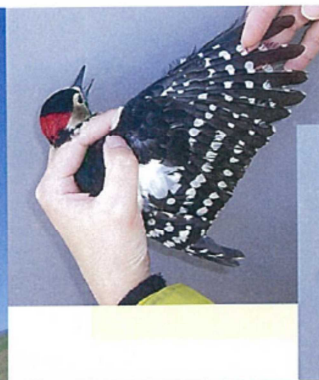
調査日数 8 日間

調査者

赤原 清枝
太刀川 勝喜
清水 武彦
三富 一裕
吉岡 勝雄
田中 謙介
村上 正志

わずかに黄色い羽根が覗く!
ミヤマホオジロ(雌)

河川敷の豊かな自然を象徴する、日本の固有種アオゲラ(雄)

水玉模様が美しい
アカゲラ(雄)の翼!

尾は堅い羽軸が印象的で、

